

2026年3月期
決算説明資料

上村工業株式会社

東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：4966

2026年5月13日

2026年5月15日更新

【連結会計期間】

日本国内(1社)：4月～3月／海外(10社)：1月～12月

● 表面処理用資材事業

- 主力の半導体パッケージ基板向けのめっき薬品の需要は、生成AI用サーバー向けを中心に好調に推移しました。

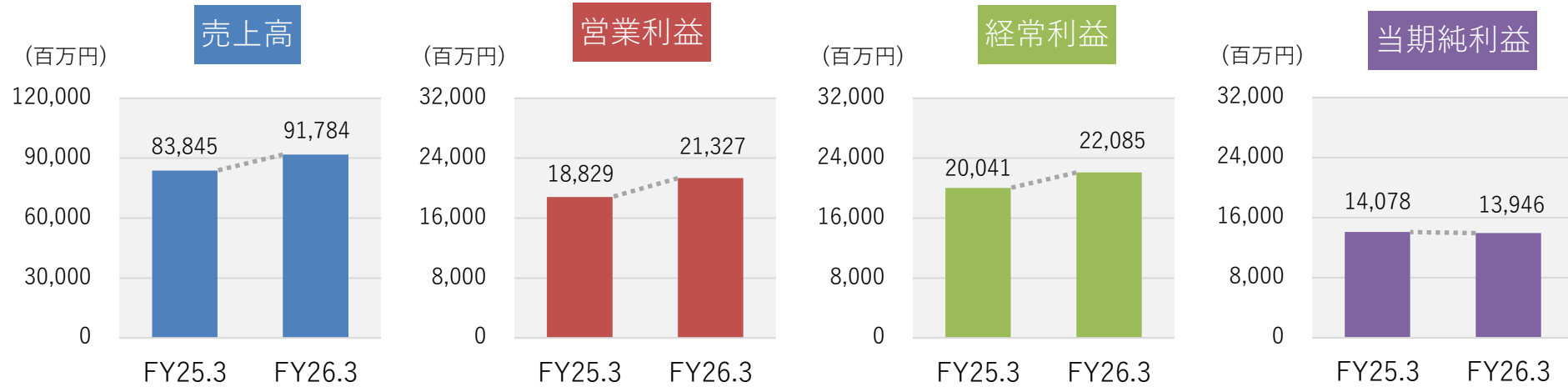
● 表面処理用機械事業

- 売上高は前連結会計年度を下回りましたが、付加価値の高い半導体ウェハー用めっき装置の販売により、セグメント利益は前連結会計年度を上回りました。

● めっき加工事業

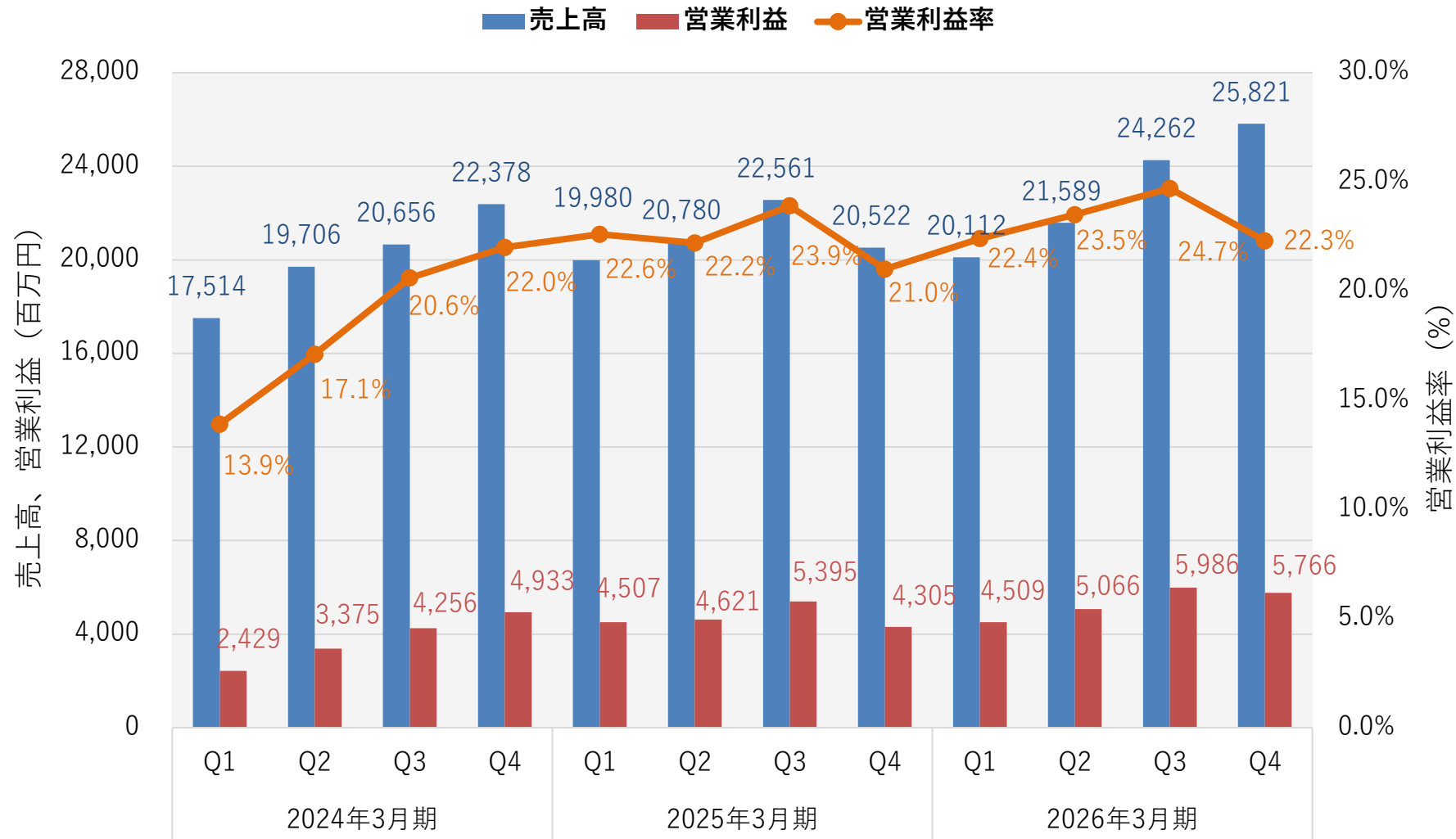
- 電子回路基板向けのめっき加工の需要が前連結会計年度より増加したことに加え、コスト削減や歩留まりの改善にも取り組んだことから、売上高、セグメント利益ともに前連結会計年度を上回りました。

2026年3月期 決算概要



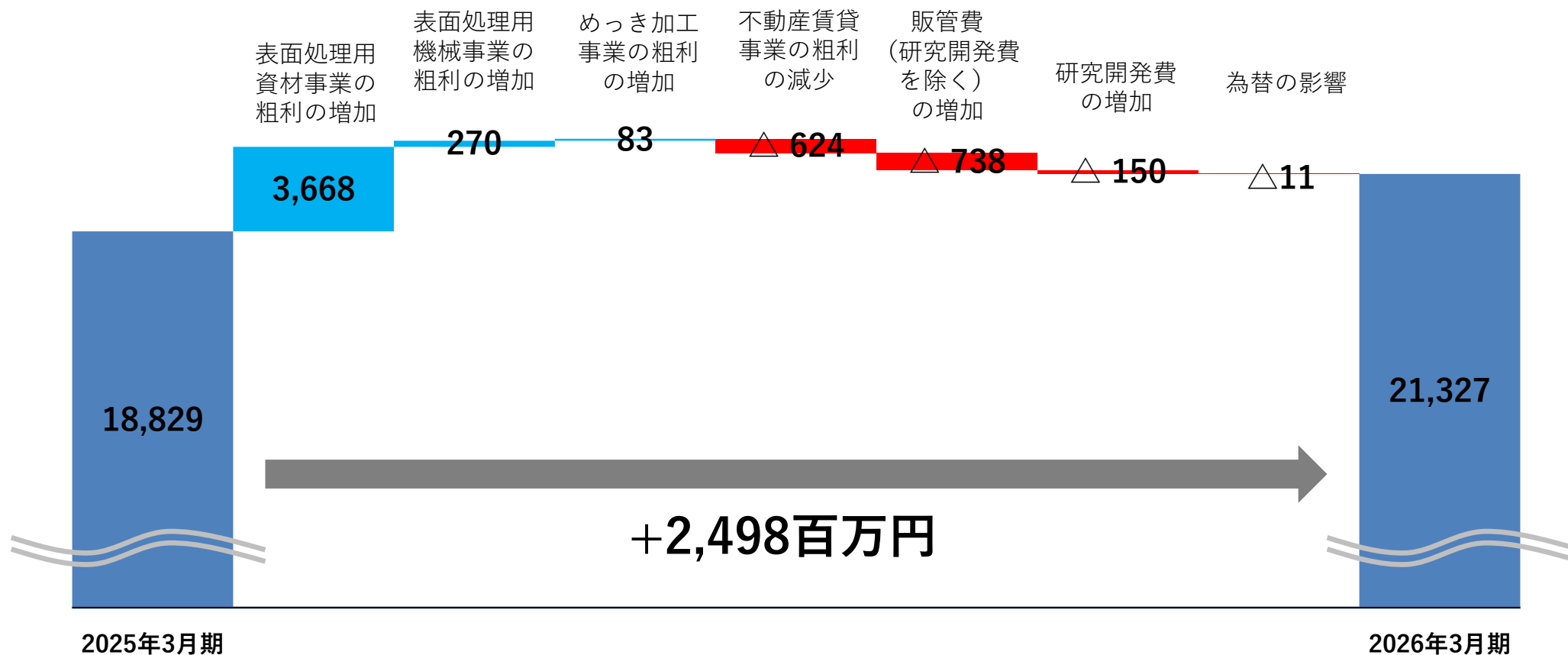
(単位：百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想(2025.11.10修正)	2026年3月期 実績	前期比	予想比
売上高	83,845	86,000	91,784	+ 7,939 (+9.5%)	+ 5,784 (+ 6.7%)
営業利益	18,829	19,700	21,327	+ 2,498 (+13.3%)	+ 1,627 (+ 8.3%)
経常利益	20,041	20,000	22,085	+ 2,044 (+10.2%)	+ 2,085 (+10.4%)
当期純利益	14,078	13,500	13,946	△ 132 (△ 0.9%)	+ 446 (+ 3.3%)
為替：米ドル	151.69円	149.41円	149.61円	2.08円高	0.20円安

四半期毎の業績推移

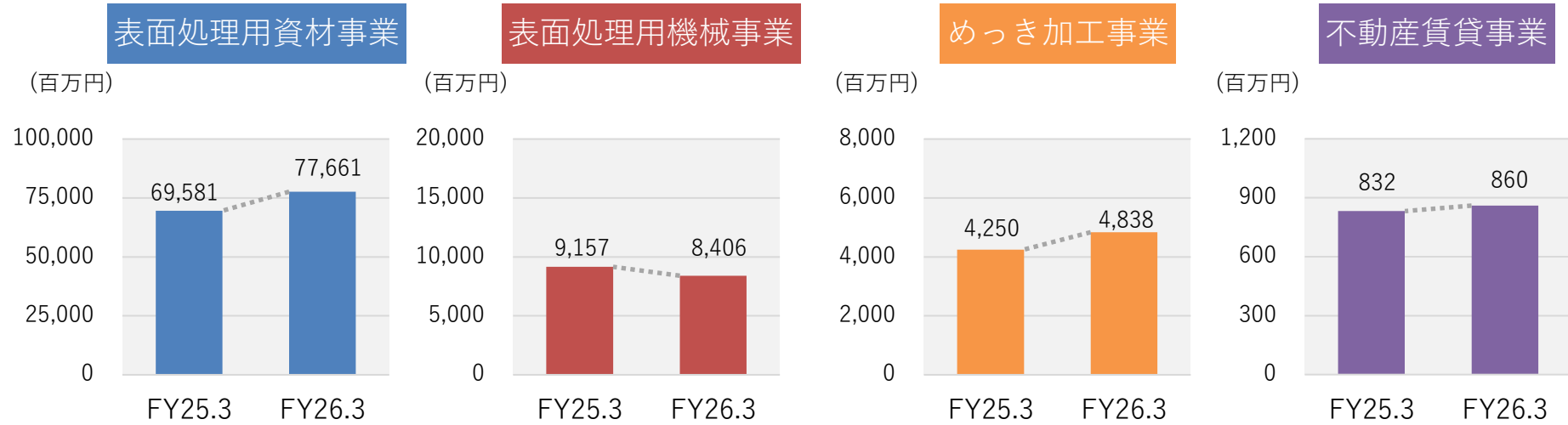


営業利益の増減要因

(単位：百万円)



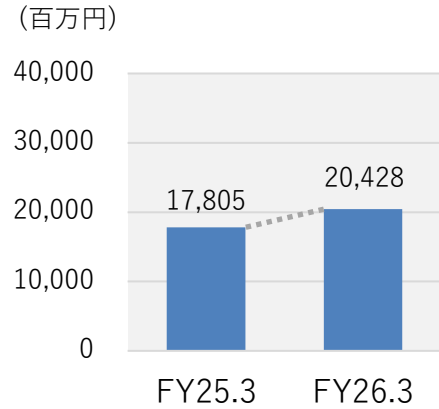
事業セグメント別売上高



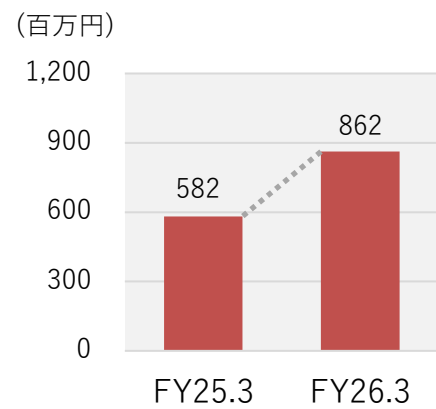
(単位：百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減額	増減率
表面処理用資材	69,581	77,661	+ 8,080	+ 11.6%
表面処理用機械	9,157	8,406	△ 751	△ 8.2%
めっき加工	4,250	4,838	+ 588	+ 13.8%
不動産賃貸	832	860	+ 28	+ 3.4%

事業セグメント別営業利益

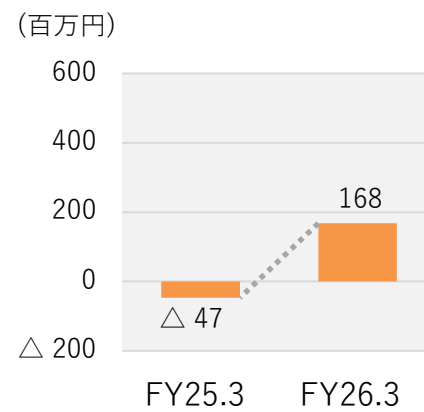
表面処理用資材事業



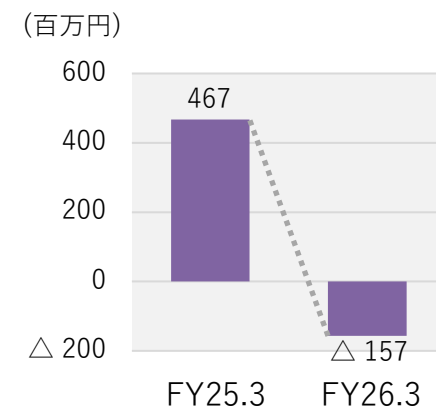
表面処理用機械事業



めっき加工事業

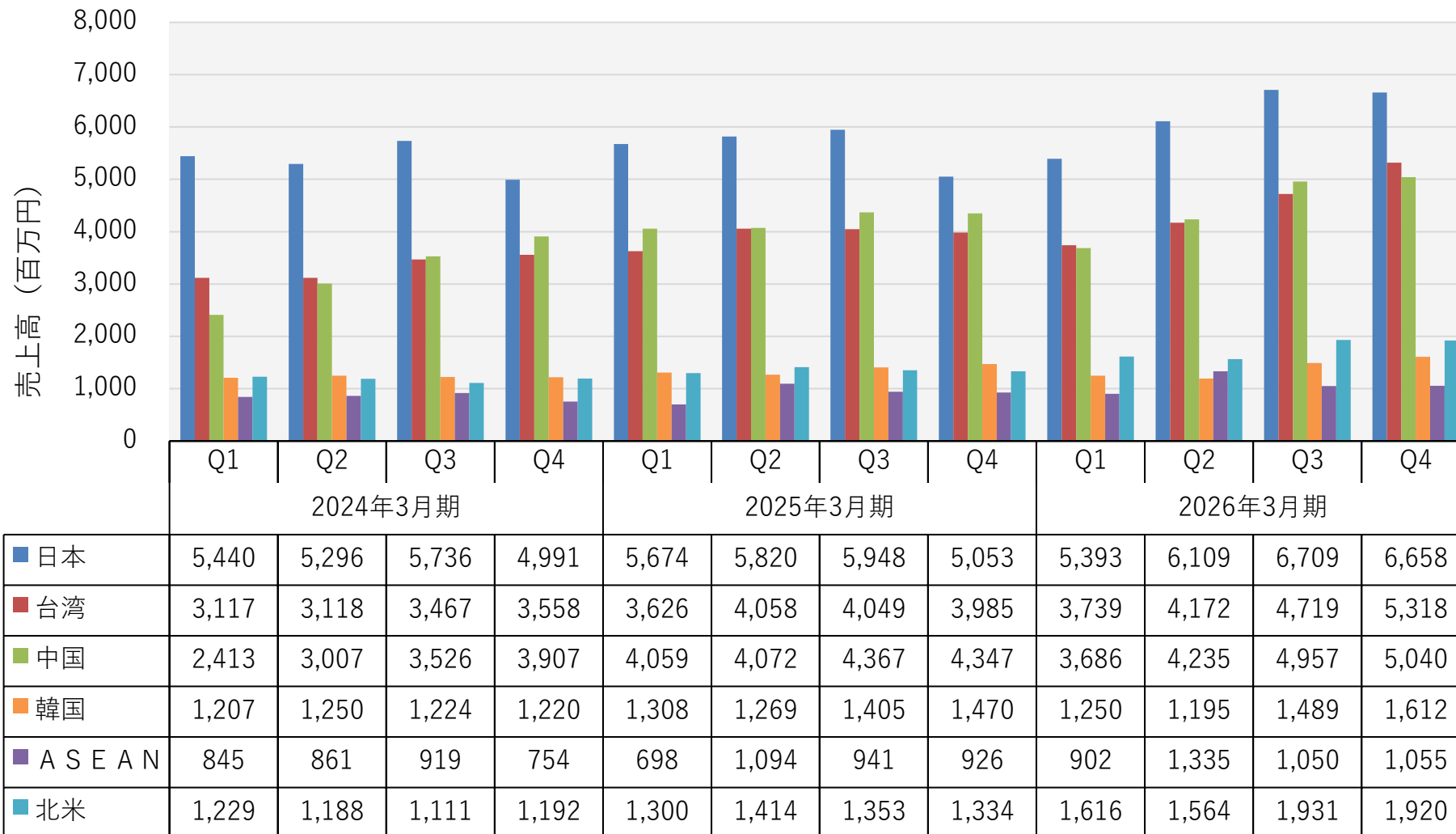


不動産賃貸事業

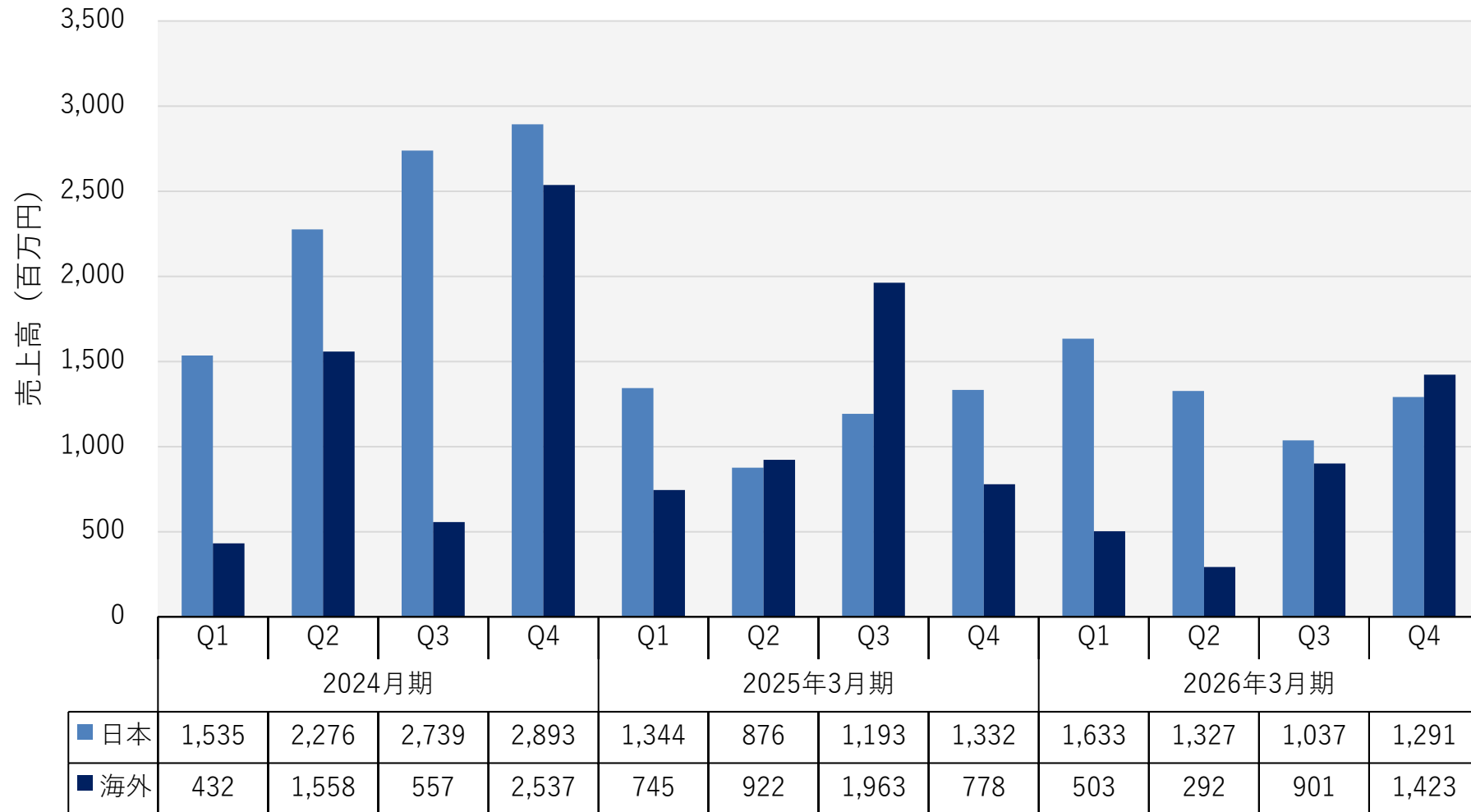


(単位：百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減額	増減率
表面処理用資材	17,805	20,428	+ 2,623	+ 14.7%
表面処理用機械	582	862	+ 280	+ 48.0%
めっき加工	△ 47	168	+ 215	-
不動産賃貸	467	△ 157	△ 624	-

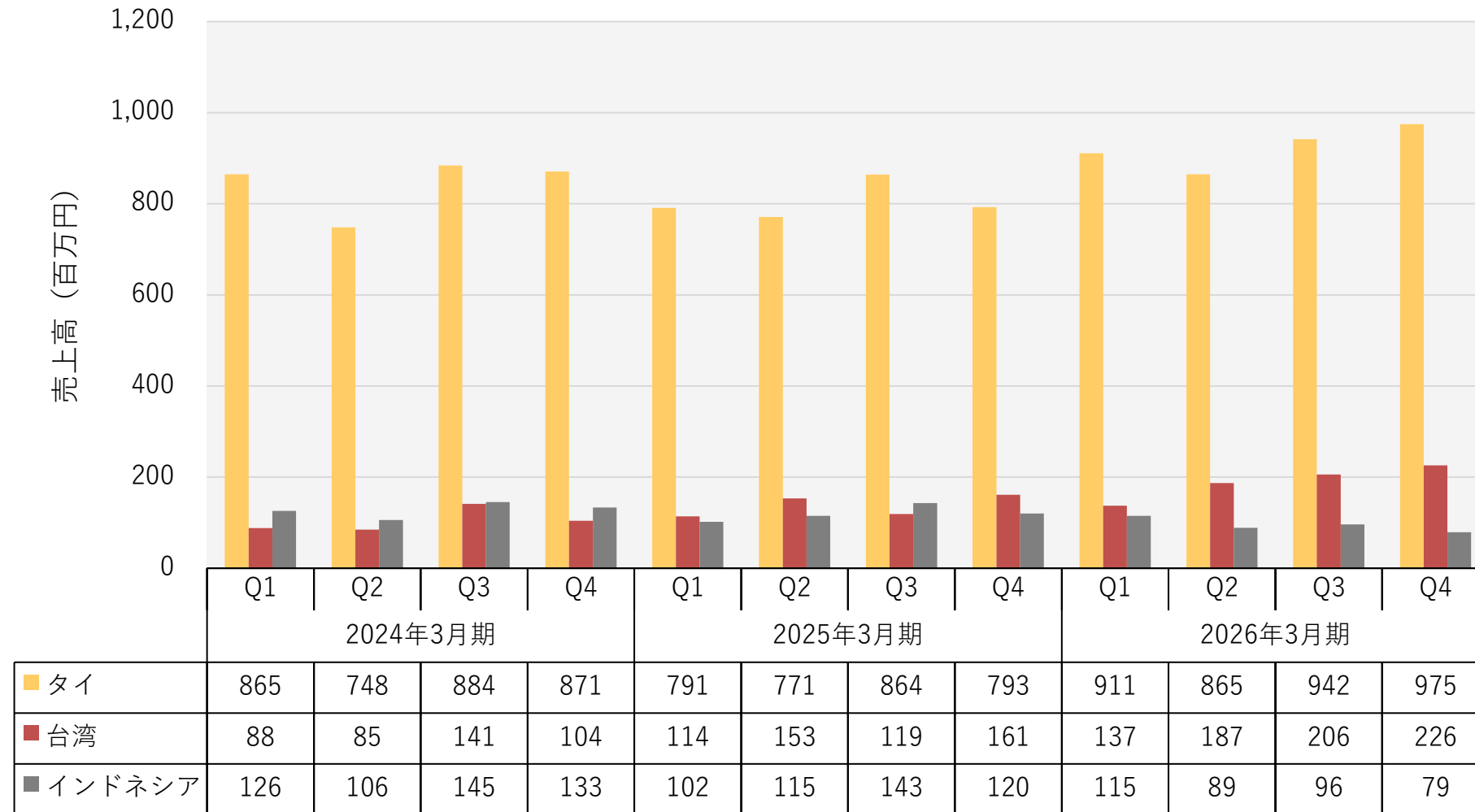
表面处理用資材事業 売上高推移



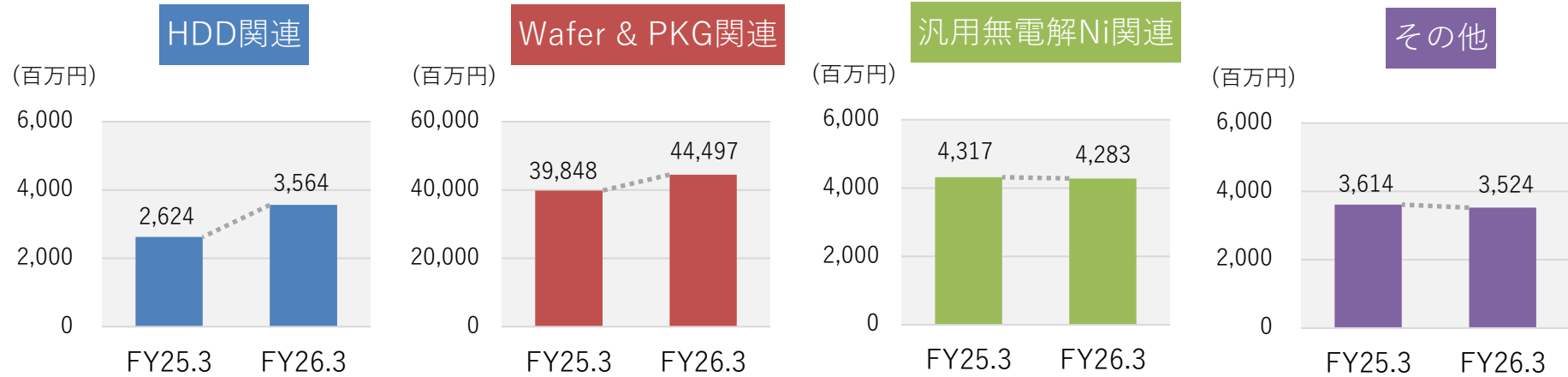
表面处理用機械事業 売上高推移



めっき加工事業 売上高推移



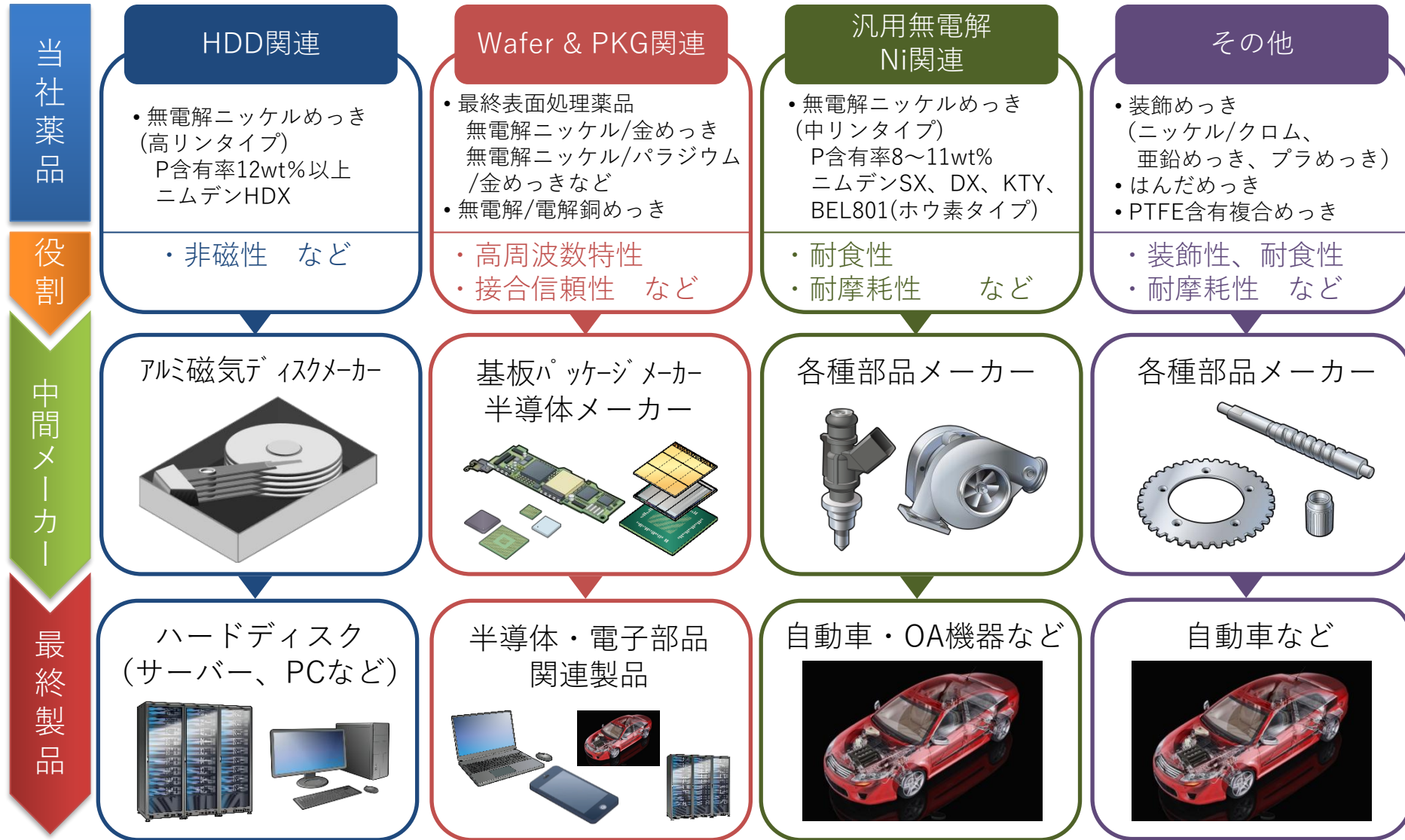
薬品カテゴリー別売上高



(単位：百万円)	2025年3月期実績		2026年3月期実績		増減額	増減率
		構成比		構成比		
HDD関連	2,624	5.2%	3,564	6.4%	+ 939	+ 35.8%
Wafer & PKG関連	39,848	79.0%	44,497	79.6%	+ 4,649	+ 11.7%
汎用無電解Ni関連	4,317	8.6%	4,283	7.7%	△ 34	△ 0.8%
薬品その他	3,614	7.2%	3,524	6.3%	△ 90	△ 2.5%
合計	50,405	100.0%	55,870	100.0%	+ 5,464	+ 10.8%

薬品の売上高は、表面処理用資材事業に含まれます。薬品には研磨剤、工業薬品、金属等は含んでおりません。※内部売上高含む

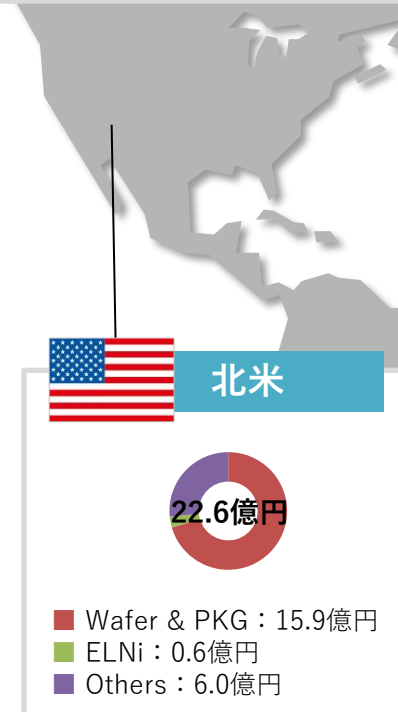
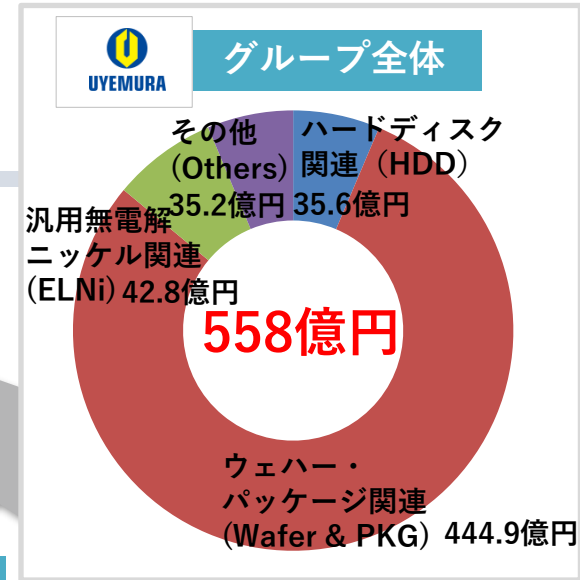
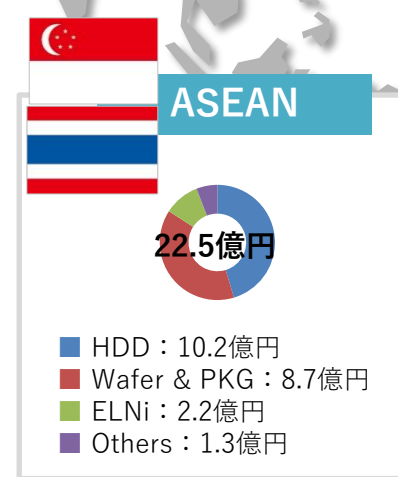
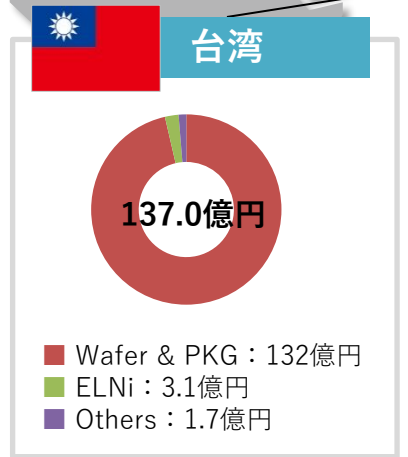
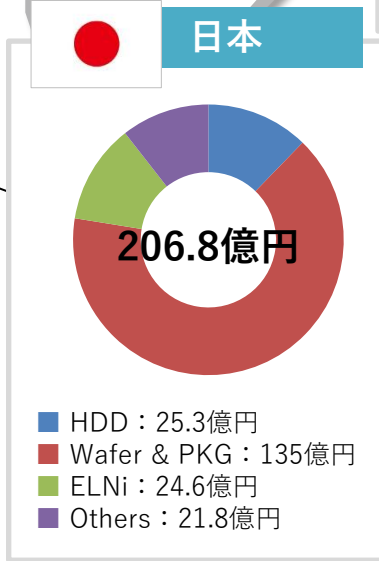
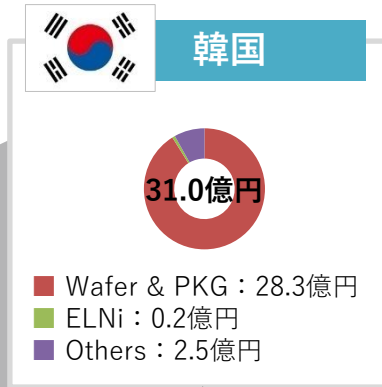
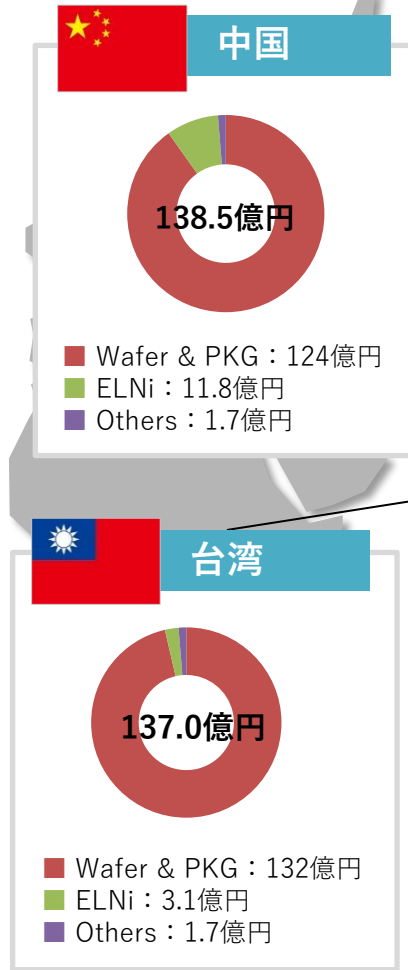
薬品ビジネス 最終製品までの流れ



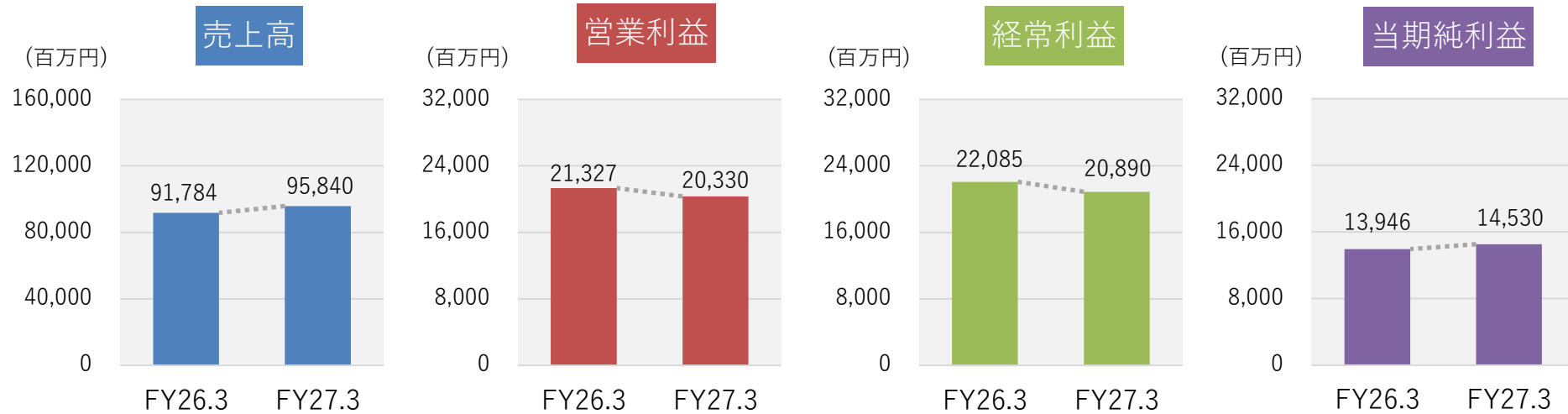
地域別薬品売上高

2026年3月期実績

※内部売上高含む



2027年3月期 通期業績予想



(単位：百万円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	91,784	95,840	+ 4,056	+ 4.4%
営業利益	21,327	20,330	△ 997	△ 4.7%
経常利益	22,085	20,890	△ 1,195	△ 5.4%
当期純利益	13,946	14,530	+ 584	+ 4.2%
為替：米ドル	149.61円	156.96円	7.35円安	

2027年3月期 通期業績予想

● 事業セグメント別売上高・営業利益予想

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減額	増減率	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減額	増減率
表面処理用資材	77,661	80,257	+ 2,596	+ 3.3%	20,428	20,213	△ 215	△ 1.1%
表面処理用機械	8,406	9,949	+ 1,543	+ 18.4%	862	584	△ 278	△ 32.3%
めっき加工	4,838	4,764	△ 74	△ 1.5%	168	△ 58	△ 226	-
不動産賃貸	860	845	△ 15	△ 1.7%	△ 157	△ 435	△ 278	-

● 薬品カテゴリー別売上高予想

(単位：百万円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減額	増減率
HDD関連	3,564	3,650	+ 85	+ 2.4%
Wafer & PKG関連	44,497	46,420	+ 1,922	+ 4.3%
汎用無電解Ni関連	4,283	4,153	△ 130	△ 3.1%
薬品その他	3,524	3,677	+ 152	+ 4.3%
合計	55,870	57,900	+ 2,029	+ 3.6%

<参考> 為替感応度

2027年3月期想定レート：156.96円(JPY/USD)

円安に1円振れると通期で

- ・ 売上：約370百万円増
- ・ 営業利益：約90百万円増

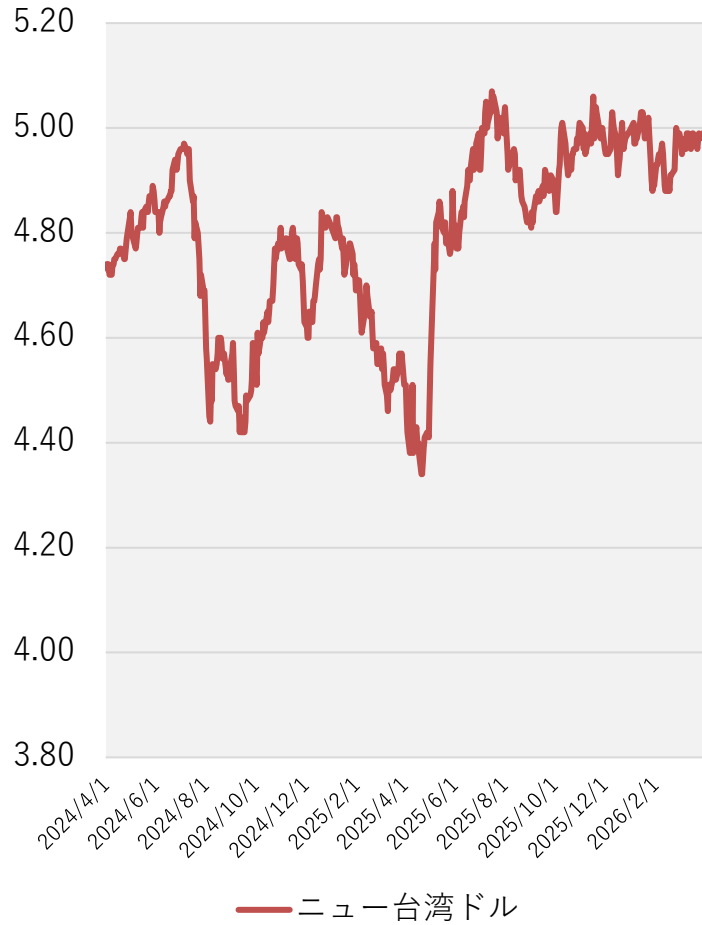
円高に1円振れると通期で

- ・ 売上：約370百万円減
- ・ 営業利益：約90百万円減

※米ドル以外の通貨も連動して動くことを想定しています。

為替レートの推移

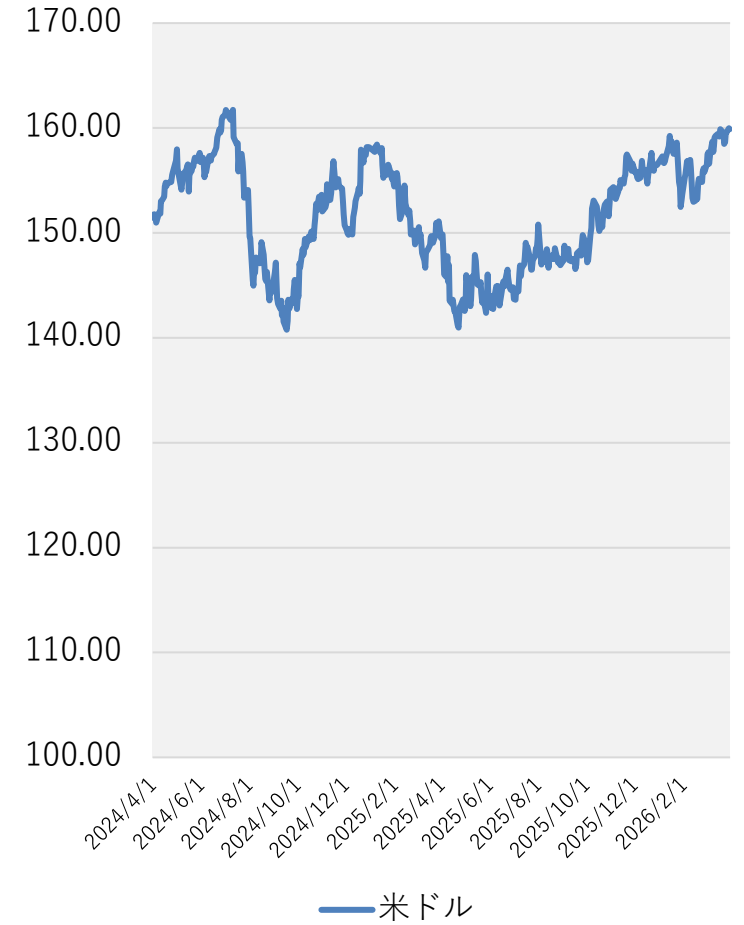
ニュー台湾ドル



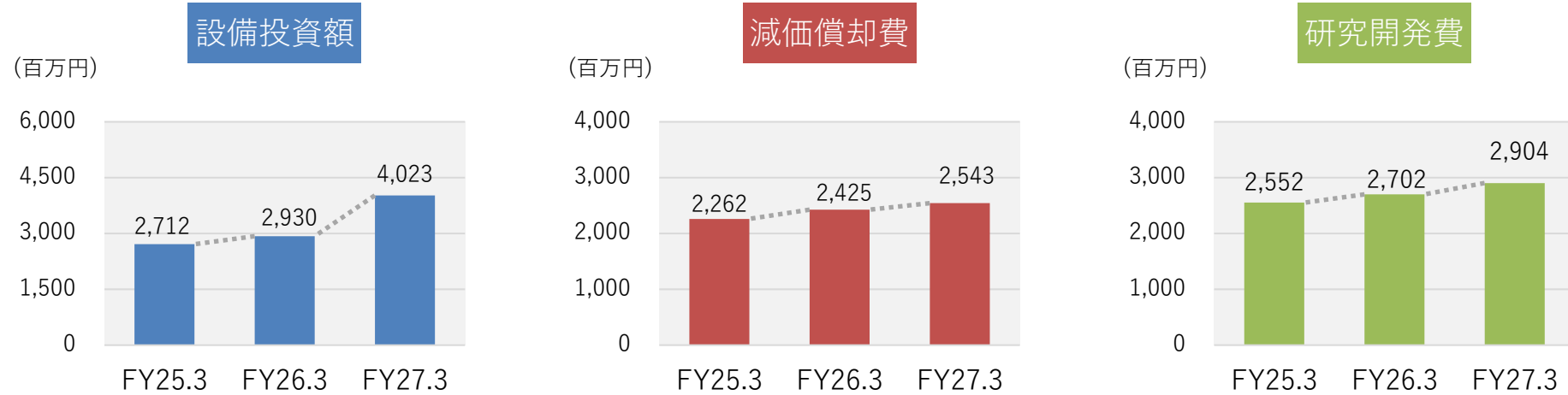
人民元



米ドル



設備投資/減価償却/研究開発費

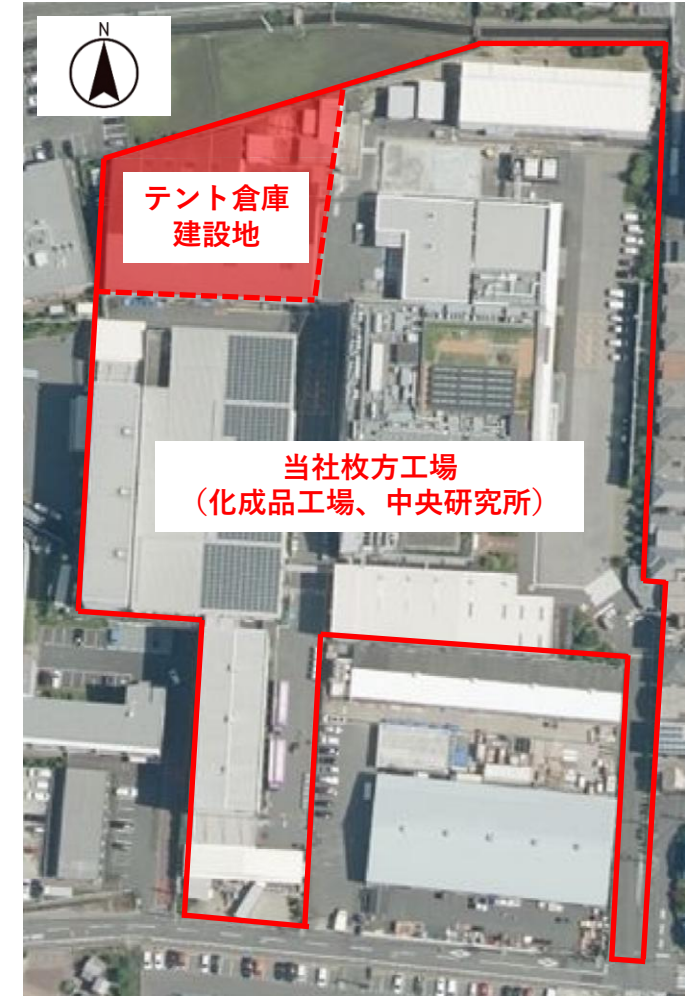


(単位：百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想
設備投資額	2,712	2,930	4,023
減価償却費	2,262	2,425	2,543
研究開発費	2,552	2,702	2,904

<トピックス> 枚方工場再構築の進捗状況

枚方化成品工場 テント倉庫完成

2026年4月、枚方工場（大阪府枚方市）の旧機械工場跡地に約1.4億円投資し、建設を進めておりましたテント倉庫が完成いたしました。賃貸倉庫の利用解消により、物流効率化と生産コストの削減を実現し、年間約7千3百万円のコストメリットを見込んでおります。



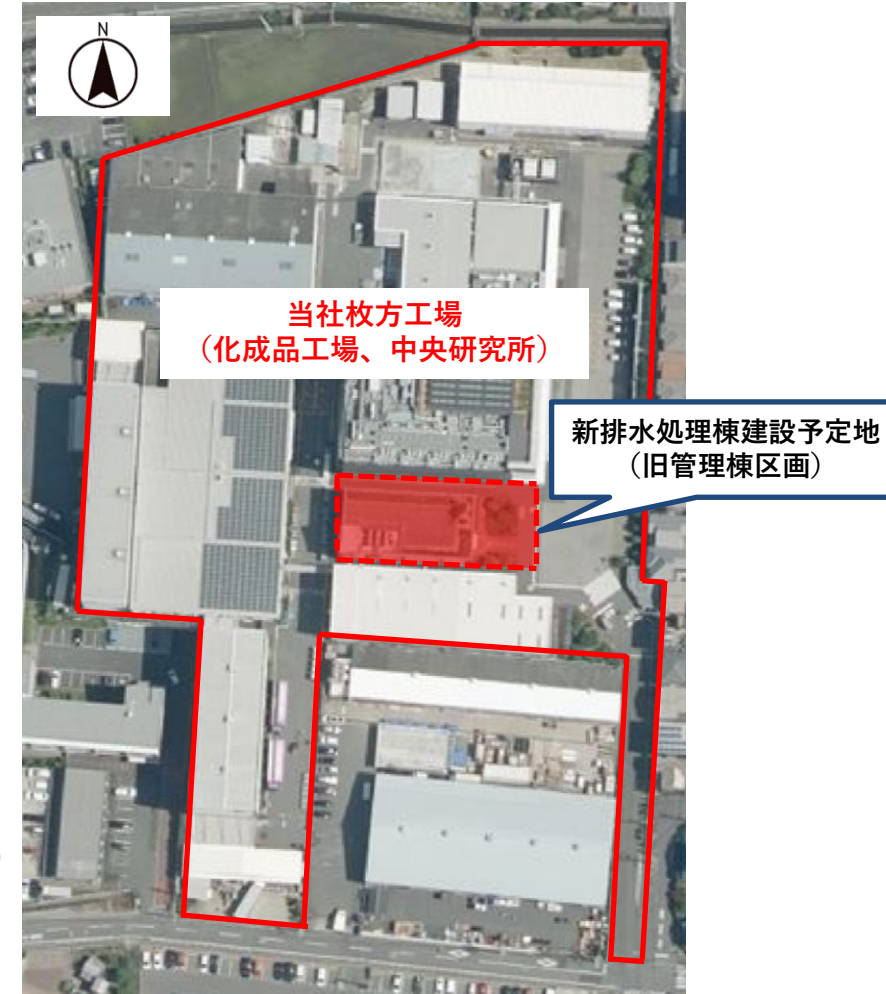
国土地理院撮影の空中写真を加工して作成

枚方化成品工場 排水処理設備の更新を計画

枚方工場の再構築の一環として、枚方工場内の旧管理棟を解体し、排水処理棟の建設を計画しております。新設備ではスクラバーと防音構造を採用し、環境負荷を低減するとともに、耐震性も強化いたします。また、昇温工程を不要とすることによって、CO₂排出量を年間約160t、工場全体の約20%削減する計画です。

新排水処理棟の計画概要

- 所在地：大阪府枚方市出口1-5-1（枚方工場敷地内）
- ボイラー設備を使用せず、24時間稼働可能
- ネット上で処理状況を確認できるIoT システム導入
- 投資予定金額：約8.5億円
（旧管理棟解体：1.8億円・排水処理棟：4.0億円・排水処理設備：2.7億円）
- 完成予定時期：2028年8月



国土地理院撮影の空中写真を加工して作成



当社は「Growing together with  (:You)」のグループ共通スローガンのもと、ステークホルダーの皆様と共に成長・発展し、社会に貢献できる企業を目指しています

Environment (環境)

環境対応型製品・技術の開発・拡販



社会発展・環境改善へとつながる製品の開発・提供



廃棄物・水使用量の削減



クリーンエネルギーの使用、電力使用量の削減



持続可能な
社会の実現

Social (社会)

社会貢献・地域貢献活動の推進



受注から出荷までの工程の自動化

いきいきと働ける職場環境の整備



Governance (ガバナンス)

コンプライアンスの徹底、人権の尊重



BCP (事業継続計画) の実施



詳細な取り組み内容については、当社ホームページをご確認ください



1. Pbフリーめっき浴

- ・無電解Niめっき浴。主に汎用浴向け。
- ・Pbフリーの電気Snめっき浴。純Sn、Sn-Ag浴など。電子部品向け。

2. シアンフリー浴

- ・シアンフリー & フリーシアン補給不要の無電解Auめっき浴。ウェハー、電子部品向け。

3. デスマリアフリープロセス

- ・危険な過マンガン酸をつかわない基板向けプロセス。

4. ホルマリンフリー浴およびホルマリン不使用プロセス

- ・ホルマリンフリー無電解Cu浴の開発。ウェハー向け。

5. PFOS, PFOA, PFASフリー浴

- ・PTFE複合めっき。主に車載部品向け。

6. 廃液処理































- ・めっき液リサイクルユニット

7. CO₂削減

- ・低融点接合材料めっき、低融点接合に適した最終表面処理



グループ会社一覧

会社名	設立年	所在地	主な事業内容
上村工業株式会社	1848年(創業) 1933年(設立)	日本	    
ウエムラ・インターナショナル・コーポレーション	1985年	米国	  
上村(香港)有限公司	1986年	中国 (香港)	
台湾上村股份有限公司	1987年	台湾	    
ウエムラ・タイランド	1987年	タイ	   
上村工業(深圳)有限公司	1988年	中国 (深圳)	   
ウエムラ・インターナショナル・シンガポール	1992年	シンガポール	
ウエムラ・マレーシア	1996年	マレーシア	 
上村化学(上海)有限公司	2002年	中国 (上海)	
韓国上村株式会社	2010年	韓国	 
ウエムラ・インドネシア	2012年	インドネシア	 



営業



研究開発



薬品製造



機械製造



めっき加工



不動産賃貸

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Growing together with



Uyemura Group Companies

● Japan	C.Uyemura & Co., Ltd.	● Taiwan	Taiwan Uyemura Co., Ltd.
● USA	Uyemura International Corporation	● Korea	Uyemura Korea Co., Ltd.
● Hong Kong	Uyemura International (Hong Kong) Co., Ltd.	● Singapore	Uyemura International (Singapore) Pte Ltd
● Shenzhen	Uyemura (Shenzhen) Co., Ltd.	● Malaysia	Uyemura (Malaysia) Sdn. Bhd.
● Shanghai	Uyemura (Shanghai) Co., Ltd.	● Thailand	Uyemura Thailand Co., Ltd.
		● Indonesia	PT. Uyemura Indonesia